



平成 28 年 6 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン ト ラ ン ス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 麻 生 正 紀  
(コード番号 3237 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 部 長 濱 谷 雄 二  
(TEL 03-6803-8100)

## 販売用不動産（信託受益権）の取得に関するお知らせ

当社は、下記のとおり不動産信託受益権（和歌山マリーナシティ）の取得を決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 取得の経緯及び理由

今回取得する信託受益権は、和歌山県の景勝地でもある和歌浦湾に浮かぶリゾート・アイランド『和歌山マリーナシティ』内の 3 施設となります。

和歌山県では、関西国際空港からの高利便性と豊富な観光資源を活用した国内外の観光誘客促進に積極的に取り組んでおり、2015 年の県内への観光客数は過去最高の 3,334 万人を記録しております。

なかでも和歌山マリーナシティは、全客室から美しい夕陽とマリーナが眺望できる高級リゾートホテル『和歌山マリーナシティホテル』をはじめ、テーマパーク、フィッシャーマンズウォーフ、天然温泉施設、マリーナなど多彩な施設が揃い、関西でも高級リゾート地として高い集客力を有しております。

当社では、日本経済の基幹分野ともなり得る観光産業（2020 年の旅行消費想定額：29 兆円）へ進出するべく、「地方創生」「東京オリンピックを見据えたインバウンド需要への対応」をキーワードとして、この度リゾート事業へ本格的に参入することにいたしました。

今後は、当社が保有する経営資源および企画・再生力を結集し、大型リゾート施設の開発等を行うリゾート事業を当社グループの新たなコアビジネスにすべく、イントランスならではのエンターテインメント性あふれる統合型リゾート※（Integrated Resort）開発を推進してまいります。

※統合型リゾート：会議場、ホテル、商業施設、レストラン、アミューズメントパーク、スポーツ施設、温泉施設などにカジノを含んで一体となった複合観光集客施設のこと。

## 2. 取得資産（不動産信託受益権）の概要

### (1)

施設名称	和歌山マリーナシティホテル
所在地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬 1517 番地 1 (建物表示)
土地	14,485.52 m <sup>2</sup> (4,382 坪) ※分筆中のため概算値
建物	9,605.95 m <sup>2</sup> (2,906 坪) ※7 階建

### (2)

施設名称	紀州黒潮温泉
所在地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬 1525 番地 (建物表示)
土地	9,140.33 m <sup>2</sup> (2,765 坪)
建物	1,464.15 m <sup>2</sup> (443 坪) ※2 階建

### (3)

施設名称	ソルカサ・デル・マール
所在地	和歌山県和歌山市毛見字馬瀬 1517 番地 2 (建物表示)
土地	2,499.66 m <sup>2</sup> (756 坪)
建物	1,031.86 m <sup>2</sup> (312 坪) ※1 階店舗部分

## 3. 取得先の概要および取得価格

取得先につきましては、和歌山県和歌山市の法人となります。取得価格につきましては、取得先との守秘義務により公表を控えさせていただきますが、当社の平成28年3月期における連結純資産額の30%に相当する額以上となる見込みであります。当該信託受益権は金融機関からの借入により取得を行う予定であります。なお、当社と取得先の間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はなく、属性についても問題はございません。

## 4. 日程

契約締結日：平成28年6月10日

物件引渡日：平成28年8月31日（予定）

## 5. 今後の見通し

平成29年3月期の当社連結業績に与える影響につきましては、重要な影響がある場合には速やかにお知らせいたします。

以上